

ワークショップインプット情報

AGULAXーA 2030ビジョン

2020年2月16日・3月14日
体育会ラクロス部OB(OG)会 幹事会ビジョンチーム

構造変化が加速する未来。我々は世間/本学にどう向き合うか

社会構造や価値観が複雑化

首都圏と地方の人口増減、技術革新、東京/地方のSociety5.0変容、SDGsの一層浸透で価値観が複雑・混然化していく未来

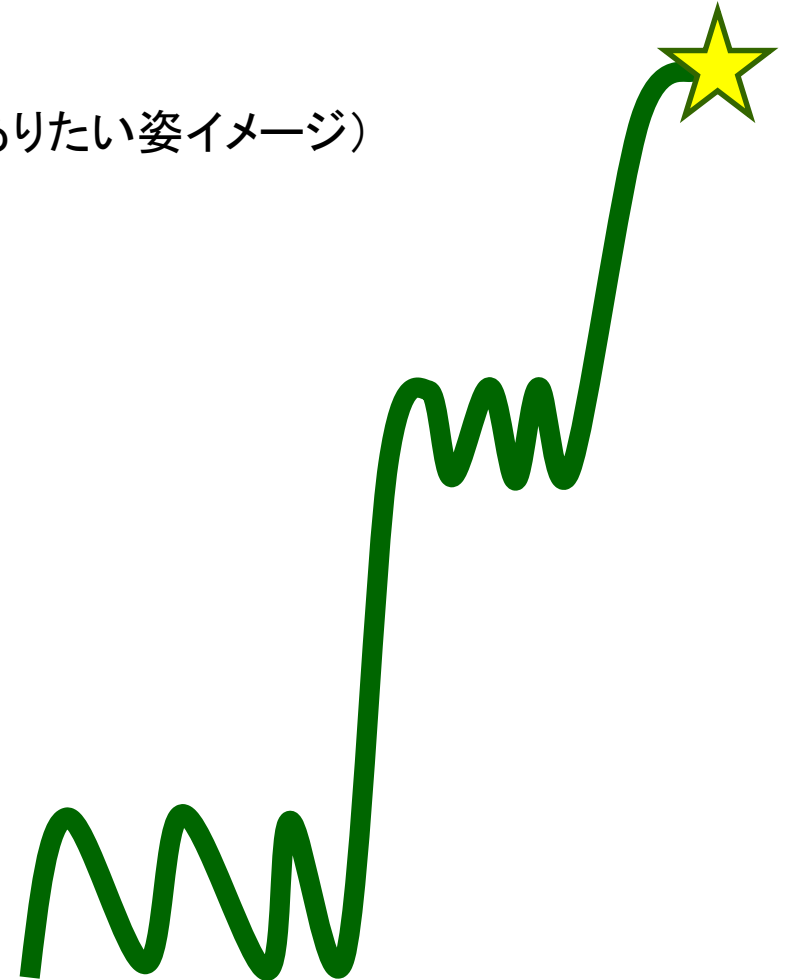
(ありたい姿イメージ)

流されるままへの不安

今までの構造のまま過ごすのか、それとも新しい構造の中で何かを模索していくのか、自問自答を強いられる

自分を信じる所・変える所

両親・先生方、そして仲間と語り合い、自分の道を自分で選び進んでいく。混然混沌の社会でどう自分の人生を創っていくか



Fire Never Die 繋がりは途切れない

- 1986年以前から日系人ノリオ・エンドー氏が日本ラグロス普及に尽力。インディアン戦闘訓練を起源に持つ本競技を人と人が火を灯していくように拡げ本学に87年創部。**Fire Never Die** これがラグロスの**精神**。ヴィジョン策定にあたり自分が各ライフステージ毎にどう関わるかを考える
- **青学ラグロス**というコミュニティに属し**世代を超えて**関係を持つことができる場でありたい。そのコミュニティに属する人は**多種多様**な価値感をもち、決してチームが強いという点に重きを置く人ばかりではなく、そのコミュニティに**いることが楽しい**、そこにいる人達が好き、という観点を持つ人もいる。その**多様性**を理解しビジョンを策定する

日本ラクロスの父ノリオ・エンドー氏が貫いた信念

Lacrosse Makes Friends

グラマン極東地域社長だったエンドー氏は商業的指向をとらずグローバル化時代を見据え日米貿易摩擦軽減には学生時代に培う友情が最も効果的と信じ学生への普及にこだわり。

ボランティア精神と感謝の心を示範

地上最速格闘競技

地上最速球技であり危険を伴う格闘競技。精度の高い動きを反復し瞬時の判断を繋ぎ合わせ仮説と検証を繰り返す頭脳型チーム競技

安全重視・怪我予防

体力消耗の激しいタフな競技で選手と怪我を切り離すことはできない。怪我予防への高い意識を持ってプレーに専念しないと危ない面も。

高度医療のジョンズホプキンス大学が全米No. 1へ

* JHU卒・元海軍エリート部隊「トップガン」



日本ラクロス協会
理事長

ノリオ・エンドー

初代JLA理事長

出所: JLAHP

2030ヴィジョン — 慶應・東大に次ぐ創部 1987. 9. 1

青山学院大学ラグロス部男子の歴史

Ver.3 as of 27th June, 2019

1987年-1989年
青山学院ラグロス誕生

AGULAXの改革

'87年9月1日に法学部1年次の選手と田中が奮起かけラグロスが産声を上げる。体育会認可ならずも同等水準の活動を期し部を立ち上げ、同時期に名跡はが法学部学生が發起し女子ラグロスも創部。日本ラグロス界のバイオニアの一翼を担い活動開始。'89年11月5日日本ラグロス史上初めに慶応大学に勝利したチームとなり日本ラグロスの盛り上げに貢献。荒木、菊池、高木、竹村、飯川、小松他、日本代表選手を多く輩出。



1990-1995年
第1回全日本選手権 優勝
常務体育学の原点、そして創部へ

AGULAXの改革

「日本一」を部全員が意識する中、主将は3年次竹花が務めチームの一体感が向上し他大学を圧倒。'90年12月15日第1回全日本選手権を4Q逆転で制覇。優勝選手に1年次浅原が輝く。'91年以降チーム力を強化する他大学の後塵を押し無念のFinal4止まり。'93年は最後の全日本優勝体験メンバーで初の秋季リーグ敗退。'94年は前年全日本優勝の早稲田に敗戦し関東ブロック3位。創部後初となる日本代表選手なしのチームで覇権も敗退。'95年は主力が抜け問題を迎えるチームと新興勢力の勃興を体験した厳しい4年へ。



1996-2000年
1部再昇格を目指すも2部から3部降格へ

AGULAXの改革

'96年は京大ととの一部残留試合で勝利も。'97年に史上初の二部リーグ降格。'98年以降は各代3~10名と部員数が伸びず数名が複数ポジションをこなさない状況へ。'98年8月25日の上智大戦では前半4-0でリードして折り返すも後半0-7で逆転負けという体力的な新しさを暴露する試合を経験。1部再昇格を目指したが5勝2敗で2部残留。'00年は青山ラグロス史上とんだ時代のとなり3部リーグを経験。長期的視野で継続して強い組織にする為の基盤作りに注力。同年秋、関東学生リーグ3部から2部に再昇格を達成。

2001-2005年
8年振り1部昇格。体育会申請し同好会へ。'02年後援会設立

AGULAXの改革

'01年は一気に1部昇格を狙うも1歩及ばず2部残留。主将足立が2部リーグベスト10に選出。'02年は1部復帰に向け部員拡大するチームの方向性を模索。チーム体制や練習方法など、勝てるチームを目指し試行錯誤。同年10月に加盟代表のもと後援会設立。'03年は多数OBによるコーチング体制に変えられ新たな戦術を駆使し入替戦を制し1部昇格を達成。同年10月に内藤主将より愛好会から体育会昇格申請。体育連合会ラグロス同好会へ名称変更。'04年はフィジカル、メンタル両面で最先端トレーニングを導入し8年振りに1部復帰。個の強いメンバーが古巣復活を期す。



2006-2010年
1部生き残りかけた時代
'10年に体育会部会へ昇格申請

AGULAXの改革

'09年まで記録なし。'10年3月竹田主将・村上主務より同好会から体育会部会へ昇格申請しラグロス部に昇格。



2011-2015年
1部残留降格昇格のボーダーラインを渡る戦い

AGULAXの改革

体育会部会昇格年となった'11年は最終戦VS成蹊。負ければ入替戦行きの確実な一戦。試合時間残り2分で4点ビハインド。絶体絶命の中、MF荒井、小林（元）の活躍。最後は主将AT福田のゴールにより残り7秒で同点に持ち込む。そのまま試合終了。1部4位、残留を決める。次の代へと託す。

2016-2020年
部員急拡大で1部定着に挑戦。
'17年にOB会再組織化で加速

AGULAXの改革

'16年は新体制で挑む4年ぶりの一部の舞台。早稲田、慶応、東大、日体といった一部の強豪校に勝利するためFALCONSとのアライアンスを結び新体制を整え勝つも入替戦で敗退し2部降格。'17年学生体育会本部長に4年次の越前が就任。同年6月にOB間の交流と現役チーム支援を目的に初のOB総会を青山キャンパス17号館で開催。幹事会を組織し体育会部会最大規模となるチーム母体の運営強化を産業勉強会などの多様なプログラムで加速。

(進行中)



*19/6時点

2030ヴィジョン — 会員数増加 28年にOB440名へ

前提

2017年

2028年

成り行き

なりたい姿

①世代別



20歳代がOB会の中心へ
20-30歳代が全体の6割へ

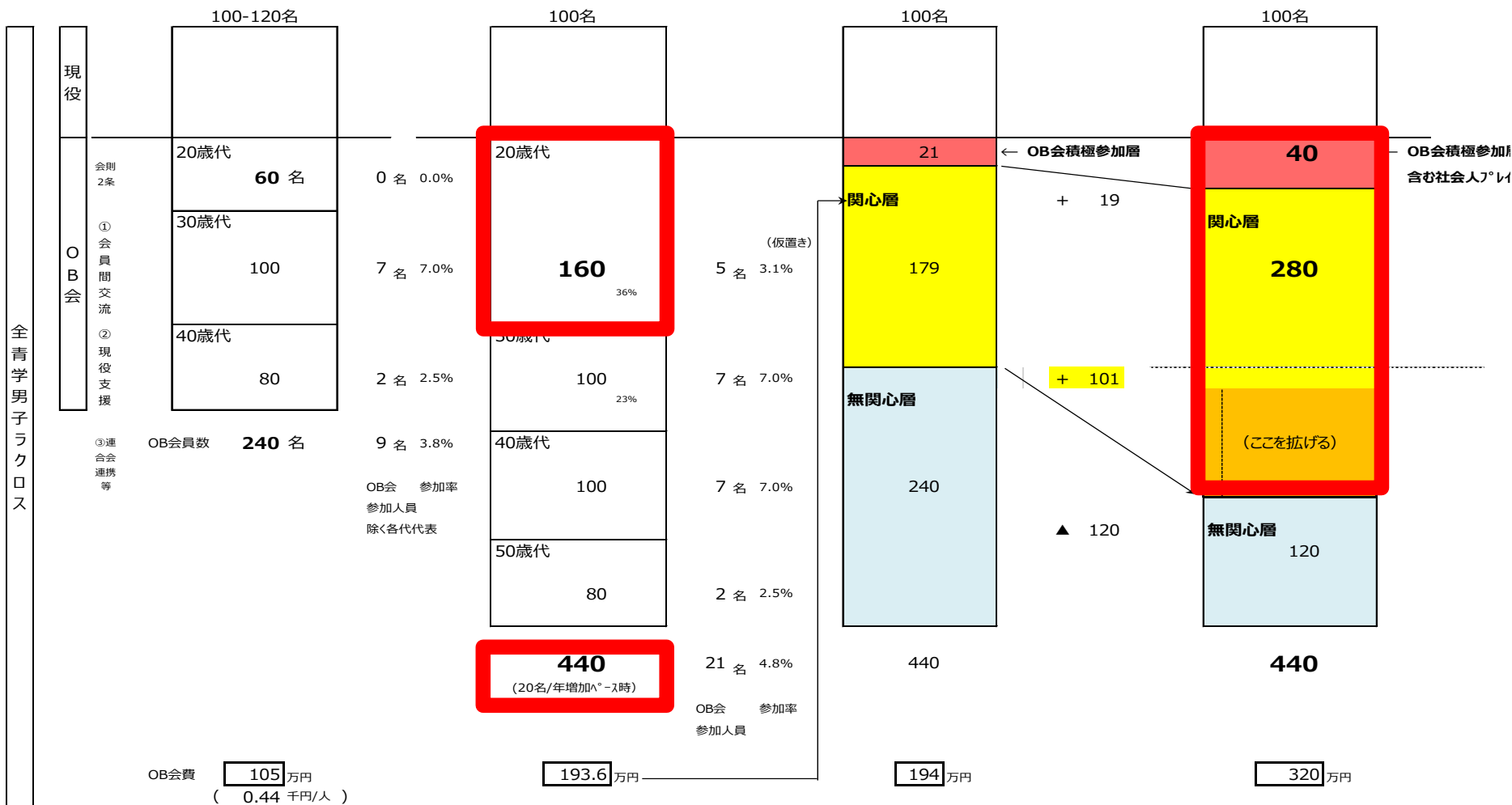
②関心度別(試算)



20-30歳代に
無関心層が多い懸念あり



OB間の交流を加速させ
OB無関心層を半減



2030ヴィジョン –ステークホルダーが考えていること

SHと共に我々は2020年代にどのような行動をするのか

①新経営宣言 学校法人青山学院・校友会

⑤青山・渋谷400年

②世界のAGU 10アクション 青山学院大学

③UNIVAS理念 スポーツ庁

⑨理念 一般社団法人 体育会OBOG連合会

⑧SHIBUYA2027 東急電鉄

⑦Society5.0 東京都

★グランドデザイン3.0(仮) AGULAX

⑥歴史

～2030年までのステージ別達成指針

④長期ビジョン日本ラクロス協会

参考情報・資料

①新経営宣言 学校法人青山学院・校友会

②世界のAGU 10アクション 青山学院大学

④長期ビジョン日本ラグロス協会

*AGULAX-A ビジョンドラフト（18年作成）

<http://www.alumni-aogaku.jp/ivy078/index.php?flow=list&cid=1027>

③UNIVAS理念 スポーツ庁

<http://www.alumni-aogaku.jp/ivy078/index.php?flow=detail&aid=8034>

⑤青山・渋谷400年

⑥歴史

<http://www.alumni-aogaku.jp/ivy078/index.php?flow=list&cid=1005>

⑦Society5.0 東京圏・地方 公表情報

⑧SHIBUYA2027 東急電鉄 公表情報

⑨理念 一般社団法人 体育会OBOG連合会 配布物

★グランドデザイン3.0(仮) AGULAX—A ～2030年までのステージ別達成指針

ステージ①・②・③別に30年に向け**どういう状態**になっていきたいか
— どういう姿に自分が関わっていただきたいかを決め節目で見直していく



(25) 本学創立150周年

How ABM rise up
as an eagle ?

(26) 男子W杯@東京

(90) ★第1回全日優勝

(28) 五輪@LA

インプット情報 — 12

周囲と違うことに勇気をもつ思考と行動を促す

Be the Difference

青山学院の経営上最上位の価値観。創造的であるためには、今までとは違うこと、違うこと、違う人達を上手く共存させて価値を生み出す

サーバントリーダー育成

幼稚園から大学院が一つのキャンパスにある稀にみる総合学園。時代に先駆ける教育を充実させ世界が抱える課題に取り組む有為な若い人を育てる活動

10点満点の愛校心

卒業後も青山学院を支えてくれる校友の愛校心の大きさが学校の価値に繋がっていく。校友は青山学院の宝である。万代順四郎氏の意味を継ぎ世界に並び立つ教育を目指す



本学海外知名度向上や青山グローバル・スタンダード開発等

実現には全ての方の協力を

<三木学長メッセージ> * 当時

社会により良い未来への道筋をリードする「世界のAGU」を目指します。その実現には、本学教職員のみならず、校友・学生をはじめ、本学に関わるすべての方々のご協力が重要

アカデミック・シティー構想

新図書館は学生・教職員・校友が集ってアカデミック活動を行う拠点。「日本の大学図書館の中で最も先進的なサービス提供を」を実現

先端研究と次世代研究者育成

卒業後も青山学院を支えてくれる校友の愛校心の大きさが学校の価値に繋がっていく。校友は青山学院の宝である。万代順四郎氏の意味を継ぎ世界に並び立つ教育を目指す

ACTION
1

AGU アカデミック・シティー構想

ACTION
2

先端研究への挑戦と次世代研究者の育成

ACTION
3

地球公共精神の涵養と社会を支えるリーダーの育成

ACTION
4

グローバル・プレゼンスの確立

ACTION
5

多様化する教育ニーズへの対応

ACTION
6

情報化時代における人文知の役割の模索

ACTION
7

AGUで「日本の心を学ぶ」-国際日本研究の拠点作り-

ACTION
8

青山グローバル・スタンダードの開発と展開

ACTION
9

ライフプランを見据えた就職支援強化

ACTION
10

知の発展を手助けし、学ぶものに寄り添う事務体制

これからの未来を拓く教育の中にスポーツクラブ活動整備も

AOYAMA VISIONの下での各設置学校・学院の取り組み
～これまでの振り返りとこれから5年間の展望～

これからの
展望

2020-2024

2024年に迎える創設150周年、そして
新たな未来を捉え、新たな挑戦を
拡充していく取り組み等、今後の展望
を紹介します。

世界と未来を拓く教育

- ◆ 理工学専攻群-教育学科の協力を活用し「教育科学」/「教育デザイン」を学ぶ
- ◆ ネットワーク授業の推進(3人1組)
- ◆ 留学体験
- ◆ 留学入門部の充実
- ◆ 豊田スタジアムでの実践的な授業の実施
- ◆ 学際型プログラムの実施
- ◆ 「国際的な視野」を鍛えるコース(工学部国際工学科の開設)
- ◆ 芸術系学科の専門性の浸透を目的に「国際芸術」/「国際教育」の導入
- ◆ 中野区の国際ネットを構築(2018、2020年)



世界のAGUへ

世界をリードする研究

- ◆ WJWorldingの拡大(10以上の学部、工学-芸術系まで)
- ◆ 研究
- ◆ 学際型研究センター(医歯)の設置
- ◆ 専攻間連携の推進
- ◆ 社会人大学院の充実
- ◆ 修士・博士課程の充実
- ◆ 修士・博士課程の充実



世界が求める社会貢献

- ◆ キャンパスボランティアの充実
- ◆ 地域大学との連携
- ◆ キャンパスボランティアセンター(医歯)の設置
- ◆ 社会貢献センター(医歯)の設置
- ◆ 社会貢献センター(医歯)の設置
- ◆ キャンパスボランティアセンターの設置



世界に誇る教育的インフラ

- ◆ 新創設校舎
- ◆ 豊田スタジアムでの実践的な授業の実施
- ◆ アジアの学生との交流を目的とした海外交流センターの設置
- ◆ 学際型センターの設置、学生の成長を促進する取組
- ◆ 海外への交流を目的とした海外交流センターの設置
- ◆ 海外への交流を目的とした海外交流センターの設置



これまでの
取り組み

2014-2019

創設140周年を迎えた2014年、150周年
への迎える準備のための指針として
「AOYAMA VISION」を策定し、この
5年間で様々な取り組みを実施してき
ました。ここでは主な取り組みを振り返
ります。

世界と未来を拓く教育

- ◆ コミュニティ・人間科学部新設
- ◆ 国際社会科系学部新設
- ◆ 豊田スタジアムでの実践的な授業の実施
- ◆ 学際型プログラムの実施
- ◆ 国際的な視野を鍛えるコース
- ◆ 国際的な視野を鍛えるコース
- ◆ アジアの学生との交流を目的とした海外交流センターの設置
- ◆ ネットワーク授業の推進(3人1組)
- ◆ 理工学専攻群-教育学科の協力を活用し「教育科学」/「教育デザイン」を学ぶ
- ◆ ネットワーク授業の推進(3人1組)



世界をリードする研究

- ◆ 統合研究センターの設立(術科研究科の設置、総合プロ
ジェクト研究の推進)
- ◆ 学際型研究センターの設置
- ◆ シンデレラプロジェクトの推進
- ◆ シンデレラプロジェクトの推進
- ◆ シンデレラプロジェクトの推進
- ◆ シンデレラプロジェクトの推進
- ◆ シンデレラプロジェクトの推進
- ◆ シンデレラプロジェクトの推進
- ◆ シンデレラプロジェクトの推進
- ◆ シンデレラプロジェクトの推進



世界が求める社会貢献

- ◆ キャンパスボランティアの充実
- ◆ 地域大学との連携
- ◆ キャンパスボランティアセンター(医歯)の設置
- ◆ 社会貢献センター(医歯)の設置
- ◆ 社会貢献センター(医歯)の設置
- ◆ キャンパスボランティアセンターの設置



世界に誇る教育的インフラ

- ◆ 新創設校舎の完成、豊田スタジアムでの実践的な授業の実施
- ◆ アジアの学生との交流を目的とした海外交流センターの設置
- ◆ 学際型センターの設置、学生の成長を促進する取組
- ◆ 海外への交流を目的とした海外交流センターの設置
- ◆ 海外への交流を目的とした海外交流センターの設置



Japan Association for University Athletics and Sports

学業充実

- 1 入学前からの動機付け
- 2 学修機会確保(日程確保・指導者セミナー)
- 3 成績管理・対策、さらなる動機付け
- 4 キャリア支援

安全安心・医科学

- 5 事故情報の集約化
- 6 共通ルールの設定
- 7 ガバナンス構築、ハラスメント等の相談
- 8 指導者研修

事業・マーケティング

- 9 大会レギュレーション整備、表彰制度
- 10 個別データの管理・活用
- 11 シェアードサービスの提供
- 12 マーケティング・会計ルール整備 等

[ホーム](#)[スポーツ庁について](#)[お知らせ](#)[トップ](#) > [政策](#) > [国際交流・国際協力](#) > [スポーツSDGs](#)

スポーツSDGs

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継の開発のための2030アジェンダにて記載された2016年から2030年までの国際目標です。17から構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。

スポーツ庁は、このSDGsの達成にスポーツで貢献していきます。スポーツの持つ、人々を集めては、社会におけるスポーツの価値のさらなる向上に取り組みます。「スポーツSDGs」の趣きなムーブメントにしていきたいと思っております。スポーツの力を活用したSDGsの達成に付けて、「スポーツSDGs宣言」として、その内容をぜひSNS等で発信してください。

スポーツの力を活用した
SDGs 達成への貢献

スポーツSDGs

出所:HP

体育会校友18千人を母体に一般社団法人化、現役生支援

(定款・第1章総則他より)

人材育成

- 1 体育会各部の現役学生支援
- 2 大学内スポーツ振興への協力
- 3 就職支援セミナー

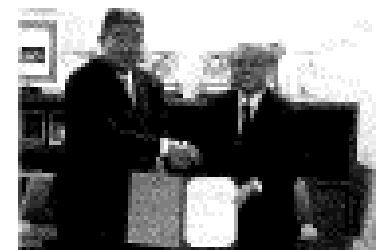
本学スポーツブランド向上

- 4 指導者委嘱状・指導者講習会運営
- 5 共通ルールの設定
- 6 ガバナンス構築、ハラスメント等の相談
- 7 スポーツ振興基金設立・地域貢献
- 8 青山スポーツ 広報活動後押し

会員相互の結末後押し

- 9 体育会OBOG会活動支援
- 10 親睦促進(ゴルフ大会等)

Aoyamagakuin Academic Athlete



挑戦を繰り返し未来目線でラクロスを進化させていく

理念・VISION・VALUES

VALUES (=行動規範)

理念

私たちは開拓者だ。

ラクロスの未知なる可能性を信じ、
感動と興奮をみんなのもとへと広げていこう。

日本のラクロスは、まだ知られていなかったこのスポーツを、一人
らの手でつくりあげ、広めてきたことからはじまりました。その
たしかに私たちに受け継がれています。

JLAは、ラクロス・プライドを胸に、未知なる可能性を信じ、ラク
興奮を一人でも多くの人へと広めていく存在でありたいと思いま

VISION

枠を超えてゆく。

常識にとらわれず、挑戦を繰り返して、
もっと自由に楽しめるラクロスをつくりだす。

ラクロスは、競技の誕生以来、常に進化を続けてきたスポーツです。私たち
は、現在のラクロスが完成形であるとは考えていません。こうあるべきとい
う古い常識にとらわれず、一人ひとりが未来目線で、新しいラクロスをつくりだ
すことに情熱を注ぎたいと思います。

変わらぬ伝統を守りつつ、今ある枠を超え、もっと誰もが自由に楽しめるラク
ロスへと進化させていく。

それこそが、私たちの目指す姿です。

#1 自分から動く。それが楽しい。

JLAは、まだ歴史の浅い若い組織です。一人ひとりが独立した精神をもち、主
体的に頭を動かし、好奇心と遊び心をもって行動にうつっていきます。

#2 誠実な人間であれ。

私たちは、社会の一員としての誠実さを持ち続けます。それを仲間と確認しあ
い、お互いを高めあっていきます。

#3 日本が誇れるラクロス・メンバーを輩出しよう。

世界レベルの選手、指導者、審判、運営従事者を有する日本ラクロス界である
べく、さまざまな支援を行っていきます。競技力・技術力だけではなく、人間力
の向上も重んじます。

#4 LACROSSE MAKES FRIENDS.

ラクロスをプレーすることで生まれる、特別な絆があります。日本中、そして
世界中の仲間たちと交流し、友情を育む機会をつくっていきます。

#5 異なる個性があつまって、志をひとつに運営する。

私たちは多様性こそが組織を強く、豊かにすると考えます。JLAは、ボランティ
アとプロフェッショナルが、個々の能力を伸び伸びと発揮し、一体となって協
力しあうコミュニティでありたいと考えます。

#6 上下はないね、等しく仲間。

JLAでは、一人ひとりに役割の違いはあっても、心の上下関係はありません。草
の根活動によって広まった日本ラクロスにおいては、年齢も立場も関係なく、
みんなが等しく大切な仲間です。

#7 ただラクロスを愛している！

ラクロスへの単純で純粋な気持ちで、みんなたしかにつながっている。だから
こそ力を合わせれば、どんな未来もつくっていけると考えます。

2030ヴィジョン — 400年前の青山/米国文化の根付き

江戸幕府が相模国との戦に備えた軍用路-大山街道・要所

將軍秀忠側近の徒頭長谷川氏 夏の陣後大阪城代老中青山氏

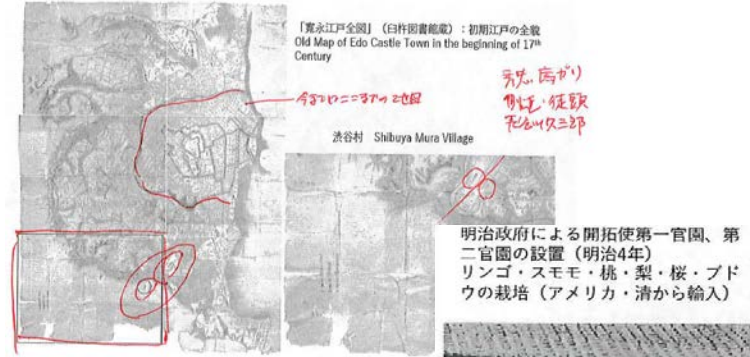
17世紀末に松平氏に土地を相代替し細かく区割りされた江戸時代からの都市集積地

北海道開拓の為の農業演習地

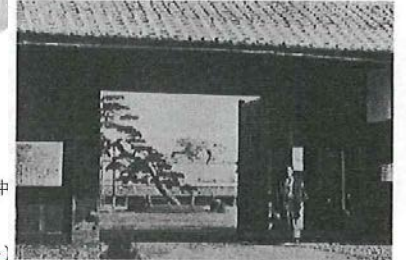
明治政府は米国と清から輸入した果物の栽培を行う第一官園として活用。津田梅子の父津田仙が責任者。1883年東京英和学校等の教育機関・軍事施設・練兵場の設置が進む

海外ユースカルチャーの出島

戦後アメリカ進駐軍ワシントンハイツがあった原宿がユースカルチャーの出島となり日本最初のストリートカルチャーが育まれる。アメリカンスタイルが原宿と青山学院を繋いでいく

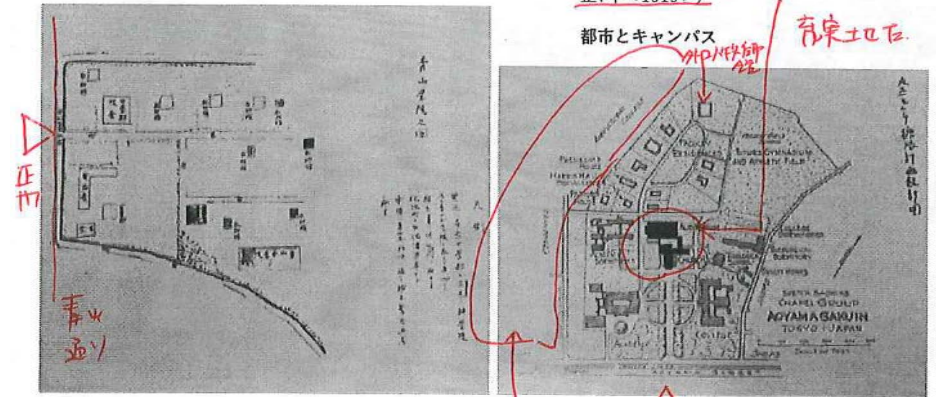


明治政府による開拓使第一官園、第二官園の設置(明治4年)
リンゴ・スモモ・桃・梨・桜・ブドウの栽培(アメリカ・清から輸入)



第一官園(北海道大学附属図書館蔵)

- ★ 官園→農業試験場(明治8年)→廃止(明治14年)→武蔵府中和学校(明治16年)→青山学院(明治27年)へ
- ★ 「青山学院之図」(東京都公文書館所蔵、明治32年<1899>) 宣教師館と寄宿舎



外ロケハイツ
カレ-ジお家
正門

出所: 本学講義

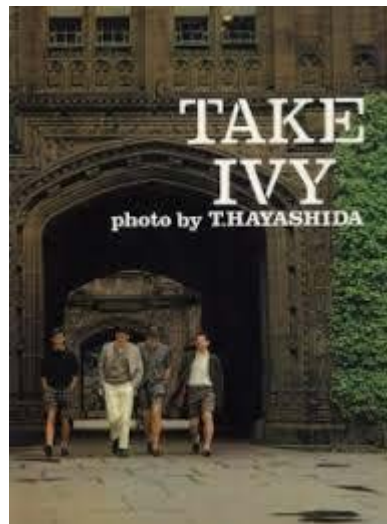
2030ヴィジョン — 戦後のアメリカンスタイル萌芽

石津謙介とVANが原宿/青山で次々と文化を生み出していく

ワシントンハイツ(1946-1964)



TAKE IVY発刊(1965・2011復刻版)



出所:公表情報

2030ヴィジョン — 2027年の渋谷 東急_中期計画より

Greater SHIBUYA が出現し文化発信の世界的中心地へ

エンタテインメントシティ&大学

東急が計画する渋谷半径2.5Kmの Greater SHIBUYA の広域開発。

世界のSHIBUYAへエンタテインメントシティを掲げ、本学のほか私大や東京大学も広域圏内に。

価値創造企業が集う街

Googleが渋谷に戻り、GMOはじめ新価値を創発する企業が根付く街 過去もそして未来も。

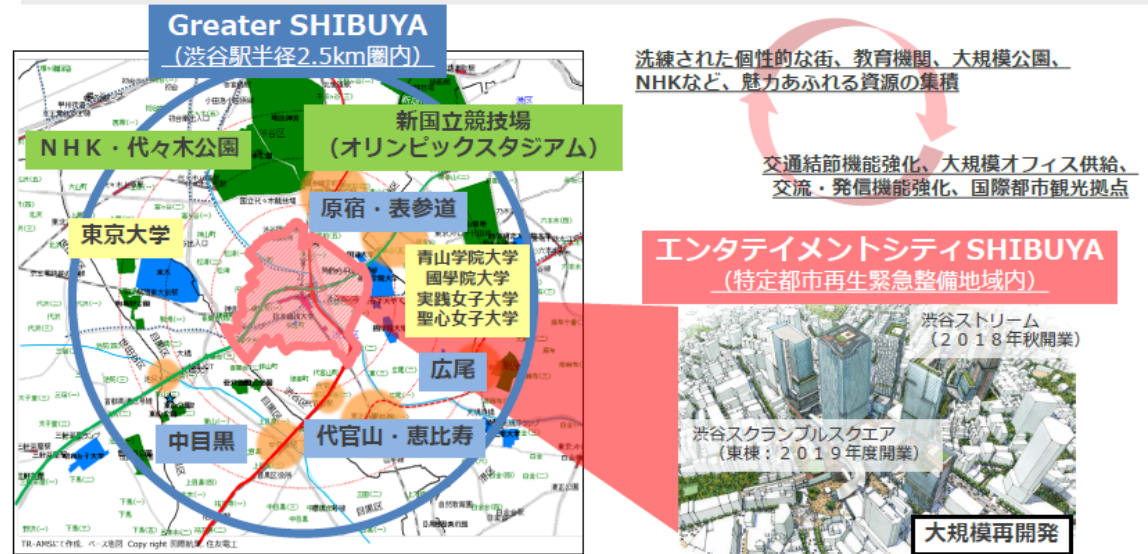
青山と渋谷の交錯点

新しいカルチャーの発信地

重点施策② 世界のSHIBUYAへ

エンタテインメントシティSHIBUYA & Greater SHIBUYA(広域渋谷圏)

大規模再開発 × クリエイティブコンテンツ産業 × 都市観光 × 魅力あふれる資源の集積
により事業機会を積極的に獲得



Tokyu Corporation



2030ヴィジョン — 近年の社会変化トレンド

人口・世帯 / 社会・経済 / 科学・技術 / まち・自然 の変化を実感

人生100年時代 — 学び方・働き方の変化

地方都市の独自発展

高齢世帯・単身世帯増による課題増加

IoTの生活浸透

5G前提ビジネスの始まり

キャッシュレス・サブスク浸透

ソーシャルビジネス好感

LGBT等の多様な人材の社会進出が当たり前

新技術活用の食糧生産(昆虫等)・販売の進化

データ活用領域の拡大 — 医療～宇宙

デジタル中国の台頭

精神的な繋がりの重要性増す？

不確実な時代に飛び込む準備。仲間に専門知識を共有

人生100年時代の多事総論

CXOと何を語るか

Future of Banking

自動車市場の構造

シンギュラリティ

Cool Japan? 日本コンテンツを北米に

もつべき経済知識と正しい資産運用

新規事業を楽しむ 経営者という選択肢

デジタル時代に勝ち残る戦略

オペラ興行の予測と舞台製作者の多様性

塩は目立たないが味をつけ光は世を照らし灯となり導く

■阪本浩学長(19代)

青山学院は**米国**メソジスト監督教会から派遣された3人の宣教師が創設。いかなる改革の着手時も145年の歴史と伝統を忘れてはならない。

「**地の塩・世の光**」をスクール・モットーとする

本学学生が全ての人と社会とに対する責任を進んで果たす人間となるよう期待。

塩は目立たず地味ですが**腐敗を防ぎ味**を付ける役に立つ。

光は闇の支配に打ち克ち**世を照らし**灯台の**灯**の様に導く。

本学は「神と人ともに仕え社会に貢献する」教育研究共同体であり続けたい



卒業後に自分がどう変化したか、校友に尋ねること

■仙波元学長のお言葉 — 18年度校友会IG総会

一貫教育の強みを発揮せよ。

OBOGの役割を考えるには、まず**自分自身**が「大学生活と比較して**その後の変化が良い**と思うか」を初めに問うこと

交友は変化への試金石で**ご意見番**の役割。

施策に活かすにはその意見を吸い上げるシステムを築くと組織が活性化する

『**学び**を通じた新たな**連帯**がブランド強化に繋がる』

『**校友会**活動が**盛ん**な学校は**発展**する』

多く的人是サーバントにはなれるのです。リーダーになれますか

■塩谷教授へのインタビュー結果

メソジストは**教育と福祉**に強く Cool head Warm hearts

サーバントリーダーとは

時間通り来る人ではなく、**時間前**に来てる人

一緒に準備し**困ってる人**がいれば**寄り添う**ことができる人

「視点を変えて見てみれば 19歳からのキリスト教」 著

リーダーとは目立たない存在 **人生を変えて**くれた人

人生の**ロールモデル**になってくれた人 隠れた恩人

地の塩・世の光とはそういう人

本学の歴代院長は、心を静める祈りを繰り返し伝えてきた

変えること・変わらないことを判断するための**英知**を。

■イーグルス命名記念壮行礼拝

塩谷直也大学宗教部長の司式のもと実施

— 穏やかな口調で聞く側の心に深く語り掛け刻まれていく力強い言葉に参加者全員が心をひとつにした

場所：青山学院 チャールズ・オスカー・ミラー記念礼拝堂

■交読文 イザヤ書40章27~31節

主に望みをおく人は新たな力を得
鷲のように翼を張って上る
走っても弱ることなく
歩いても疲れぬ



■塩谷宗教部長のお言葉



聖書に共通する**3要素**を記憶しておいてほしい

- 1)登場人物が人生で取り返しのつかない**大きな失敗**をすること
- 2)過去を切り捨てる覚悟のものごとで改名し**未来**を見据えること
- 3)**神**をいつも**感じ**切り離すことをしないという**誓い**を立てること

この度のイーグル命名の意味の重さと覚悟はヤコブが神と一生戦うと決心しイスラエルへ改名した聖書創世記32章25-29節と重なる そして

聖書に登場する**イーグル**は2つ意味を象徴する動物の例え
イーグルは「**若さ**」と「**スピード**」を表す

若さとは

どんな時も失望せず**希望**に満ちる**目と心**のこと



スピードとは

心の**重荷**を神に**預け**目の前の**挑戦**に集中すること

イーグルはこの世で人間が到底到達できない場所へ信じられない素早さで移動できる創造物

They will rise up as an eagle in the sky

この言葉を送ります。心とユニフォームに固く縫い付けてほしい
神を感じ神を頼り神を信ずる限り、神は必ず見捨てない
主の祈りを。

1人1人がライフステージ毎に変化する気持ちを自由に語る
***相手の意見を否定しない**

①OB(OG)会の総数・母体変化

②ライフステージ毎の会員の気持ちの理解 → POST ITへ

③我々は節目毎にどのような“状態”になっていたいか

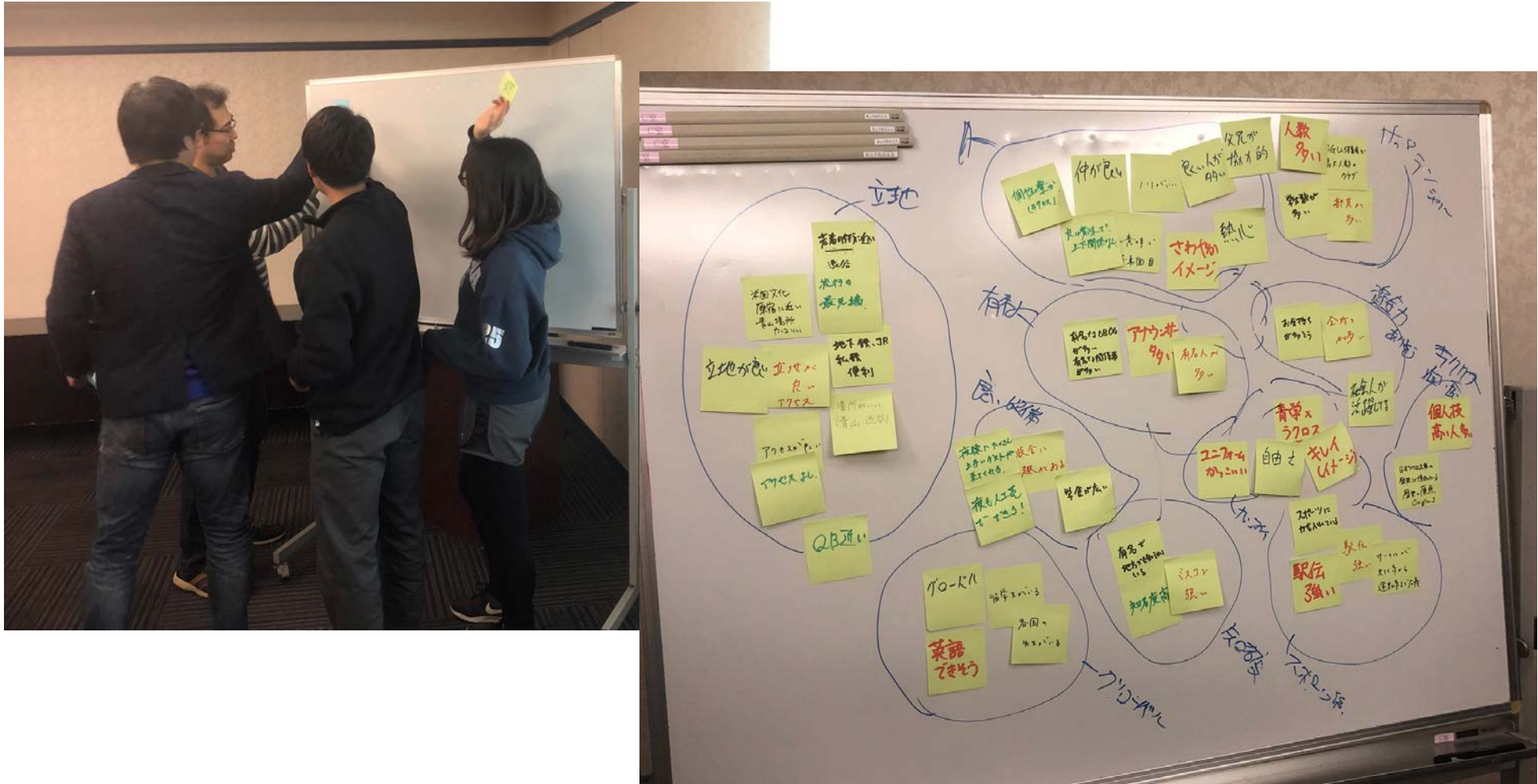
④年度方針はありたい“状態”の実現に必要な活動に注力
→20年度方針・21年度・・・としてヴィジョンに近づけていく

自由に語りましょう！

**ワークショップトライアル
— 20年1月 —**

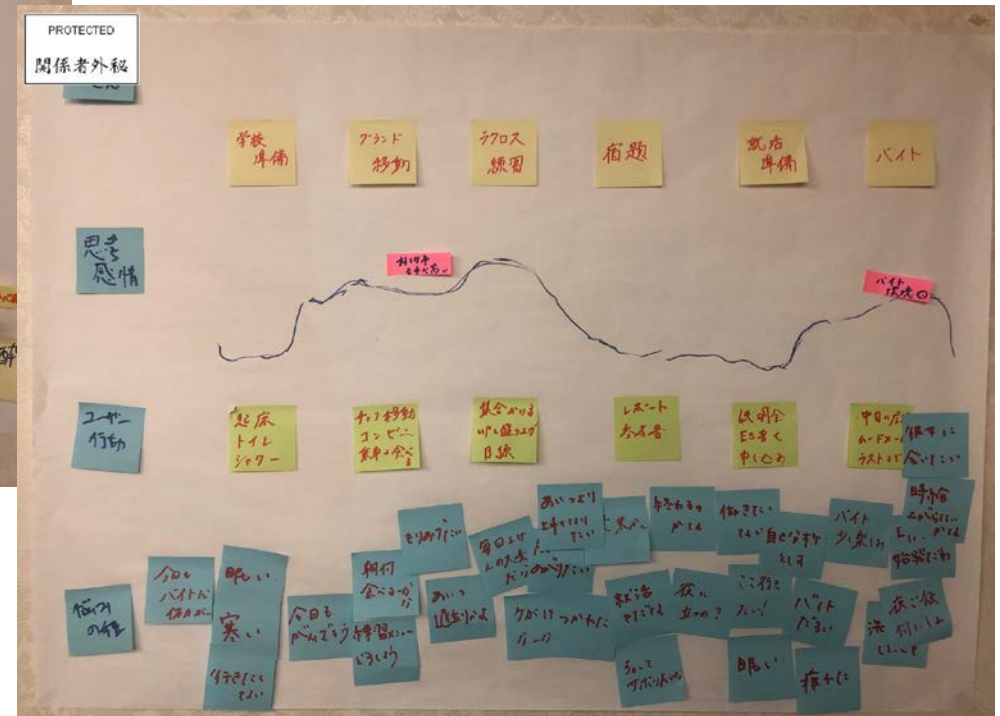
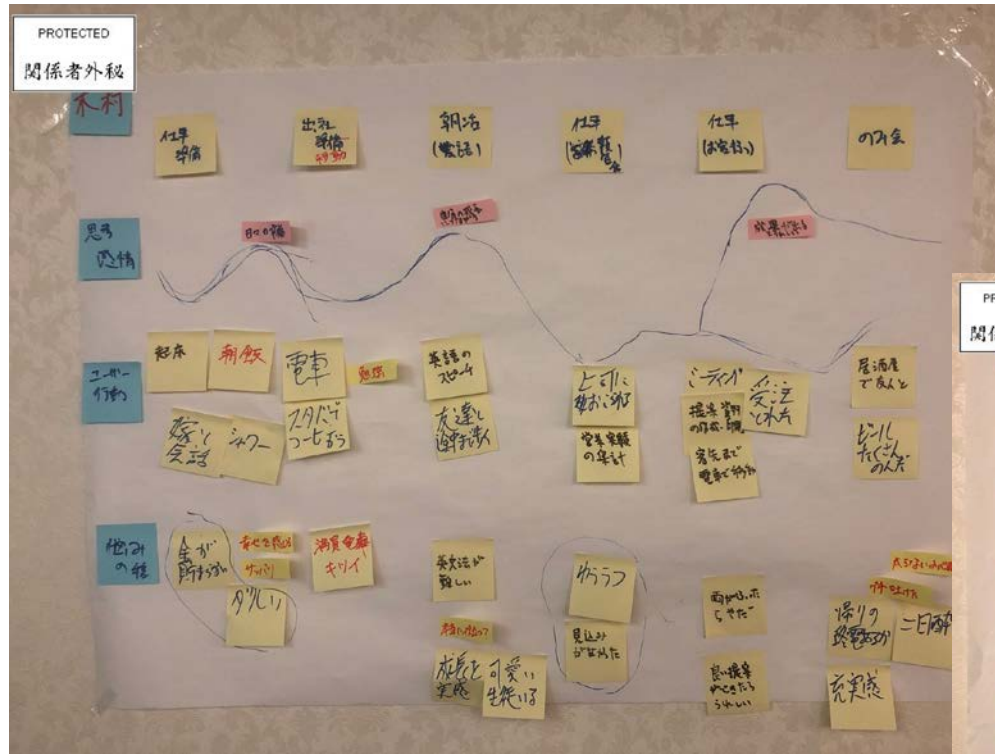
本学の強みは立地・著名人など複数意見をグルーピング

■強みの発見



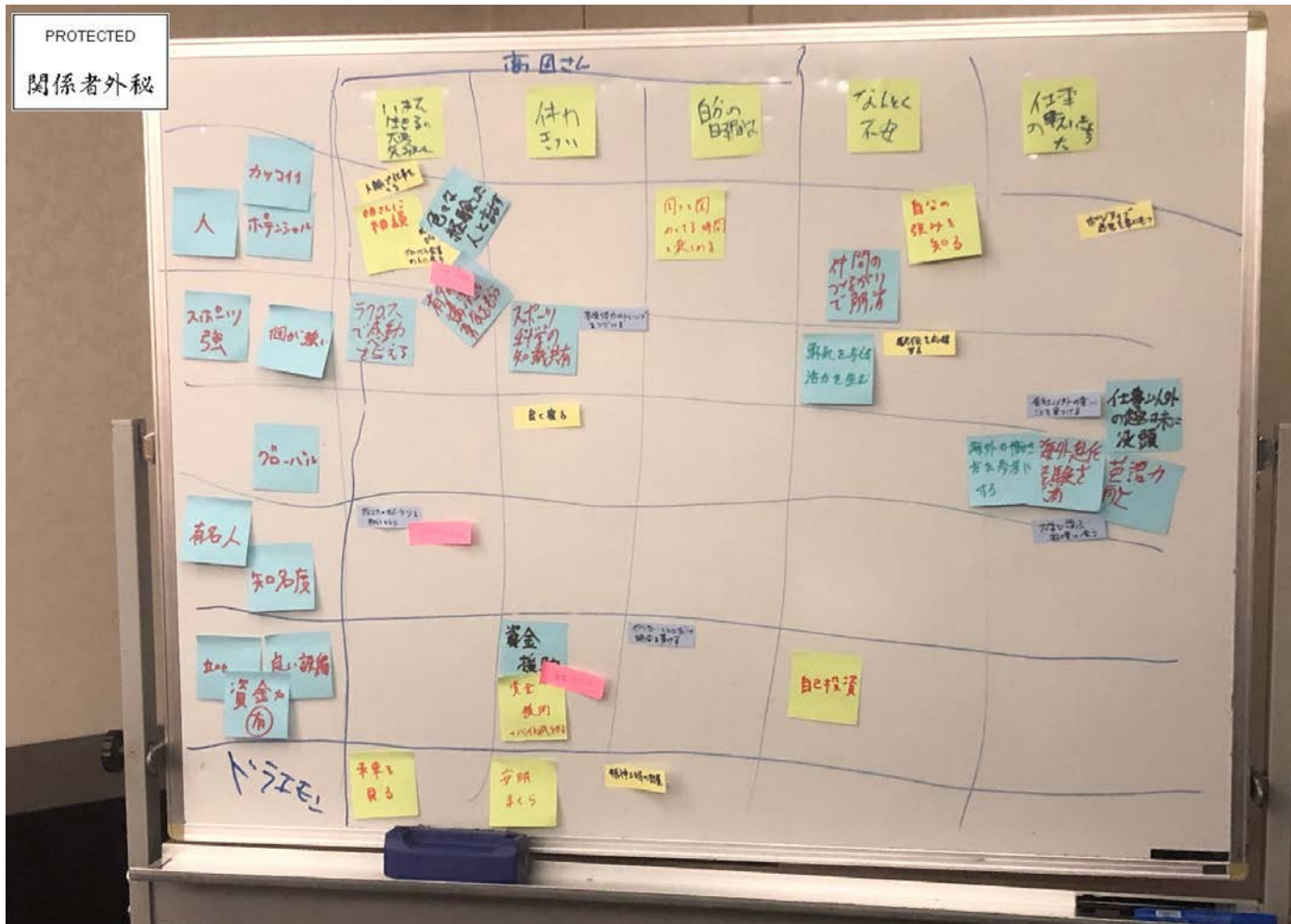
30代社会人と学生の1日の心の喜哀を想像し図示

PERSONA & JOURNEY MAPPING



本学の強みを利用し各人の心の弱み克服の方向性を発見

CREATIVE MATRIX



ペインポイントの真因を探り取組コンセプトを絵図化

CONCEPT POSTER

アイデア名
人脈大開作戦

ユーザー
木下サトル

ペインポイント
ジャンルを越え、11月25日の大会
仕事の影響が大きい
↓
余力が足りない、能力が足りない
目的/狙い
人脈を越えて成功する仕事で成果を出す

コンセプトデザイン
青学がブランドをより高める
出会いを通じて

AGU 08.06 の人

能力不足
能力不足
補完的
お宝人材紹介
お宝人材紹介

必要とされるスキルを SNS などで
お宝人材紹介の仕組み AGU 08.06
AGU 08.06 大会と連携して人脈が広がる
AGU 08.06 大会を通じて人脈が広がる (19,1000名)
人脈が広がる

必要とされるスキルを SNS などで
お宝人材紹介の仕組み AGU 08.06
AGU 08.06 大会と連携して人脈が広がる
AGU 08.06 大会を通じて人脈が広がる (19,1000名)
人脈が広がる

目的/狙い: 提供価値
目的/狙い: 提供価値
目的/狙い: 提供価値
目的/狙い: 提供価値

国立大学
他、私立大学

外部の働きかけ

外部の働きかけ

PROTECTED
関係者外秘

PROTECTED
関係者外秘

ペインポイントの真因を探り取組コンセプトを絵図化

■参加者の生声

- 流れがよかった
- 最後のプレゼンがもっとうまくできると良かった
- ただ身体を動かすにクラブにとどまらず、
先輩・部員間の繋がりを深めるきっかけになった
- 青学らしさ、集中力をもって考え抜けた
そのプロセスを実感できた、ここまで形にできたこと実感
- 次は、青学ラクロス部やOB(OG)会が何をやるか
- デザインシンキングを体験する場として今日は成功した